

心をひらいて 豊かにかかわり合い ともに育ち合う道徳教育

東広島市立三ツ城小学校

1 研究の特色

○総合単元的な道徳学習の構想

新学習指導要領では道徳教育について、「道徳の時間を要として学校の教育活動全体を通じて行うものであり、それぞれの特質に応じて、適切に行わなければならない」と述べられている。そのことを踏まえ、本校では、「心をひらいて豊かにかかわり合い ともに育ち合う道徳教育」の研究テーマのもと、総合単元的な道徳学習を構想し、意図的、計画的に実践していくこととした。さらに自分や相手のよさを認め合い、安心してかかわり合う中で、児童の道徳性を広い視点から育成していこうと考えた。

①地域の人・もの・こととの関連

① 地域の人・もの・ことと関連させた総合単元的な道徳学習

本校には地域コミュニティが併設されており、地域コーディネーターの方が学校と地域を結ぶ役目を担っている。また校区内には古墳公園や東広島市立中央図書館などいろいろな施設が集中しており、学校における教育活動にとって活用しやすい環境にある。これらの特長を生かし、総合単元的な道徳学習を構想する際、地域と連携を図ることでより道徳的価値の自覚が深まると考えられる活動を、意図的に関連づけることとした。

②国語科、算数科との関連

② 教科の特質に応じて、道徳教育との関連を図った国語科、算数科の授業づくり

学習指導要領に示してあるように、国語科、算数科で養われる基礎的な知識や技能、態度、能力は、道徳性を培う場や実践の場において不可欠な力である。また、国語科や算数科の学習は、教育課程の中で占める時間の割合が多い。これらのことから、道徳教育との関連を図った国語科、算数科の授業を展開することで、より多くの機会をとらえて道徳性を養うことができると考え、総合単元的な道徳学習の構想の中に国語科と算数科を位置づけた。また、国語科、算数科の特質と道徳教育との関連を明らかにするために、〈学習内容〉〈能力〉〈学習態度〉の3つの視点で整理した「道徳教育との関連表」を作成した。構想図や国語科、算数科の学習指導案の中にも関連の図り方を明記し、養いたい道徳性を教師自身が意識しながら指導していくこととした。

	国語科	算数科
学習内容	・ 教材に含まれる道徳的価値	
学習態度	・ 最後までやり遂げようとする態度 (勤勉努力, 不とう不屈, 希望)	
	・ 工夫することで、くらしを豊かにしていこうとする態度 (真理, 創意工夫)	
	・ 自分のよさや特長を知り、伸ばしていこうとする態度 (個性の伸長)	
	・ 人に温かい心で接し、進んで親切にしようとする態度 (思いやり, 親切)	
	・ 友だちと仲良く活動し、助け合っていこうとする態度 (信頼友情, 協力)	
	・ 広い心を持ち、相手の考えを謙虚に聞いてお互いの立場を重んじようとする態度 (寛容, 謙虚)	
能力	・ 友だちの苦勞や努力を理解したり感謝したりする態度 (尊敬, 感謝)	
	・ 学習や生活に生かそうとする態度 (創意進取)	
	・ よりよく話し合おうとする態度 (役割の自覚, 協力)	
能力	・ 自分の考えを根拠を明らかにしながら表現する力	・ 見通しをもつ力
	・ 人の思いを感じたり、自分の気持ちを伝えたりする力	・ 筋道を立てて考える力
	・ 様々な表現方法を知り、自ら豊かな表現ができる力	・ 自分で考え、行動する力
↓		
道徳的な思考力, 判断力, 表現力		

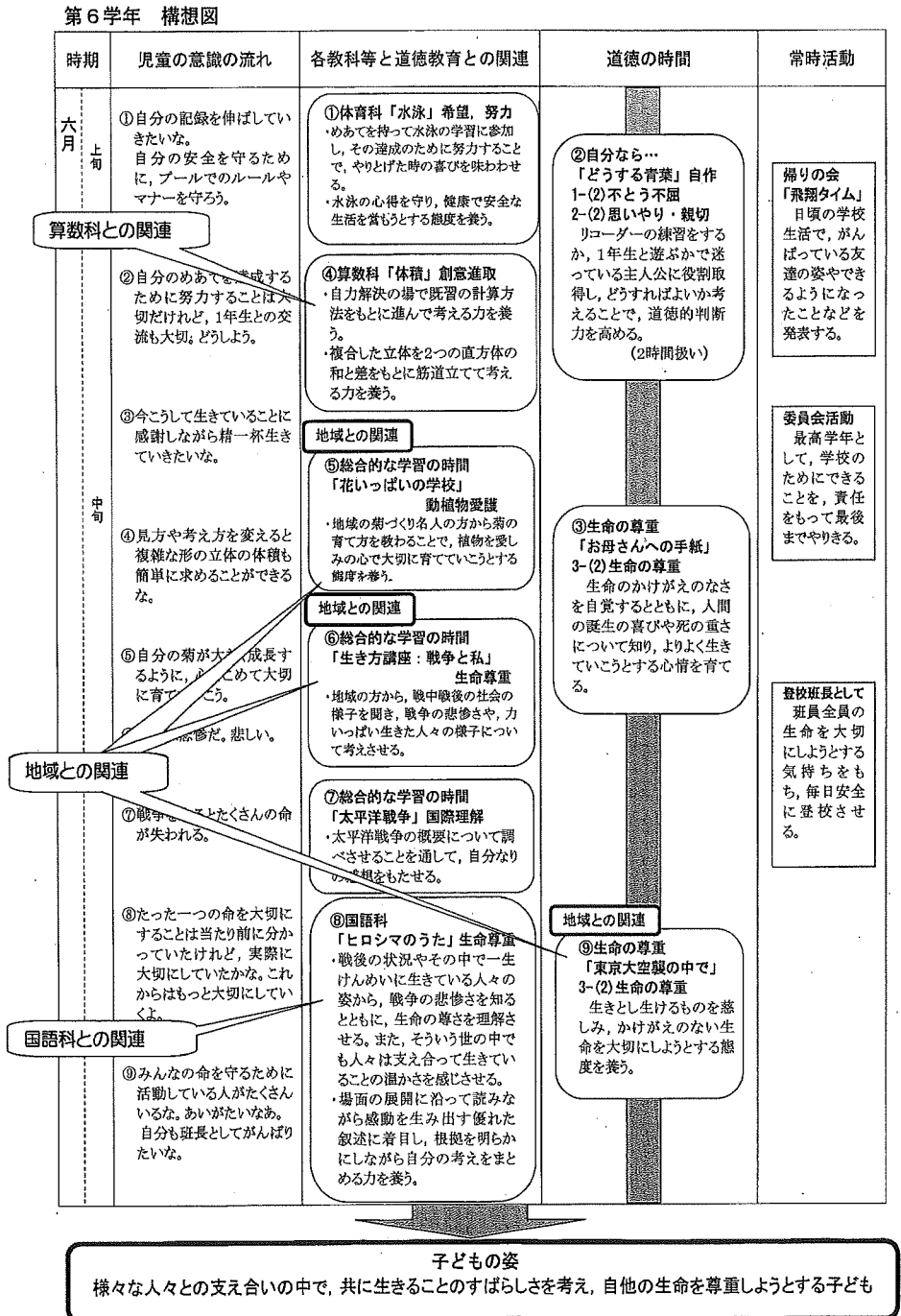
2 実践事例

(1) 地域を有機的に活用し、国語科・算数科との関連を図った実践

《総合単元的な道徳学習の構想》

第6学年【生命の尊重】の価値に重点をおいて、総合単元的な道徳学習を構想した。総合的な学習の時間「太平洋戦争」や国語科「ヒロシマのうた」の学習において、戦争を背景にして生命の尊さや支え合って生きる人々の温かさを、体育科「水泳」、算数科「体積」、総合的な学習の時間「花いっぱい为学校」において、生きることの意味や素晴らしさを深く考えさせた。道徳の時間においては、「お母さんへの手紙」で身近な人の命について考えさせ、単元終末に「東京大空襲の中で」を位置づけることで、生命尊重の精神についての考えをより深め、自他の生命を尊重しようとする道徳的実践意欲や態度を養おうとした。

① 構想図

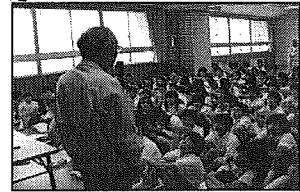


② 地域との関連

地域のよさをより効果的に活用するために、次の3つの学習の関連を図った。

ア 総合的な学習の時間「生き方講座：戦争と私」

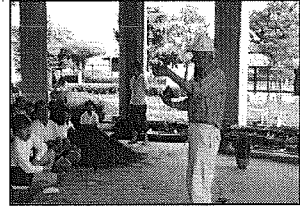
地域の戦争を経験された方から、戦中戦後の社会の様子を聞き、戦争の悲惨さやその中で力いっぱい生きていた人々の様子を知ることで、“生きていくこと”についての考えを深めることができた。



総合的な学習の時間「生き方講座」

イ 総合的な学習の時間「花いっぱいの学校」

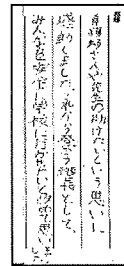
地域の菊づくり名人の方から、菊の苗の植え方や育て方を教わった。菊づくり名人の植物を愛しむ姿勢から、生あるものを愛し、心をこめて菊を育てていこうとする気持ちをもつことができた。



総合的な学習の時間「花いっぱいの学校」

ウ 道徳の時間「東京大空襲の中で」

地域の交通指導員さんのビデオメッセージを聞いて、交通指導員さんの命に対する思いを知った。また、自分もまた登校班の班長として班員たちの命を守る立場にあることを改めて自覚し、班長として安全を守り、生命を大切にしようとする気持ちをもつことができた。



授業後の児童の感想より

国語科、算数科とは、次のように関連を図った。

③ 国語科・算数科との関連

ア 国語科「ヒロシマのうた」

○内容面での関連【教材に含まれている道徳的価値（生命尊重）】

戦後の状況やその中で一生懸命に生きている人々の姿から、戦争の悲惨さを知るとともに、生命の尊さを感じた。また、そういう世の中でも人々は支え合って生きていることの温かさについて考えた。

○能力面での関連【自分の考えを根拠に基づいて表現する力

（道徳的な思考力、判断力、表現力）】

場面の展開に沿って読みながら、感動を生み出す優れた叙述に着目し、根拠を明らかにしながら、自分の考えをまとめた。

イ 算数科「体積」

○内容・態度面での関連【学習や生活に生かそうとする態度（創意進取）】

自力解決の場で既習の計算方法をもとに進んで考え、多様な考えを聞くことができた。

○能力面での関連【筋道を立てて考える力（道徳的な思考力）】

複合した立体を2つの直方体の和と差をもとに筋道立てて考え、体積を求めることができた。

④ 「要」としての道徳の時間

生命尊重についての考えをより深め、自分だけでなく他の人の生命も尊ぼうとする実践意欲や態度を養うために、資料「東京大空襲の中で」を通して“生命の尊さ”について考えさせた。

① 学年 第6学年

② 主題名 かけがえのない命 3-(1)生命の尊重

③ ねらい

「ここには患者がいるんです。」と叫んだ看護婦さんたちの気持ちを考えるを通して、生きとし生けるものを慈しみ、かけがえのない生命を大切にしようとする態度を養う。

④ 資料名 「東京大空襲の中で」(東京書籍)

